

2020年3月期 決算説明資料

株式会社 千ノ一
(東証1部：6850)

1.2020年3月期 決算

- 1) 決算の概要
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント業績
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 連結キャッシュ・フローの推移
- 8) 海外売上高の推移

2.設備投資・減価償却費の推移

3.株主還元

4.トピックス

5.業績予想・中期経営計画2020進捗状況

1) 決算の特徴

<2020年3月期 連結業績>

受注高

20,628百万円 前年同期比7.0%減



売上高

20,582百万円 前年同期比6.4%減



電子部品関連や自動車関連向けの需要減速

利益面

営業利益

1,026百万円 前年同期比40.3%減



経常利益

1,683百万円 前年同期比 3.8%減



当期純利益 (親会社帰属)

1,218百万円 前年同期比 9.3%増



① 営業利益、経常利益

: 売上高減少の影響等により減益。

② 当期純利益

: 明陽電機株式会社を持分法適用会社にしたことによる投資利益を営業外収益に計上し、増益。

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2018 実績	FY2019 実績	前期増減	前期増減比
受注高	22,191	20,628	▲ 1,562	▲ 7.0%

	FY2018 実績	FY2019 実績	前期増減	前期増減比
売上高	21,999	20,582	▲ 1,417	▲ 6.4%
売上総利益 (利益率)	7,179 (32.6%)	6,354 (30.9%)	▲ 824 (▲ 1.8p)	▲ 11.5%
営業利益 (利益率)	1,718 (7.8%)	1,026 (5.0%)	▲ 692 (▲ 2.8p)	▲ 40.3%
経常利益 (利益率)	1,750 (8.0%)	1,683 (8.2%)	▲ 66 (0.2p)	▲ 3.8%
当期純利益 (親会社帰属) (利益率)	1,113 (5.1%)	1,218 (5.9%)	104 (0.9p)	9.3%

2) 業績サマリー (2)

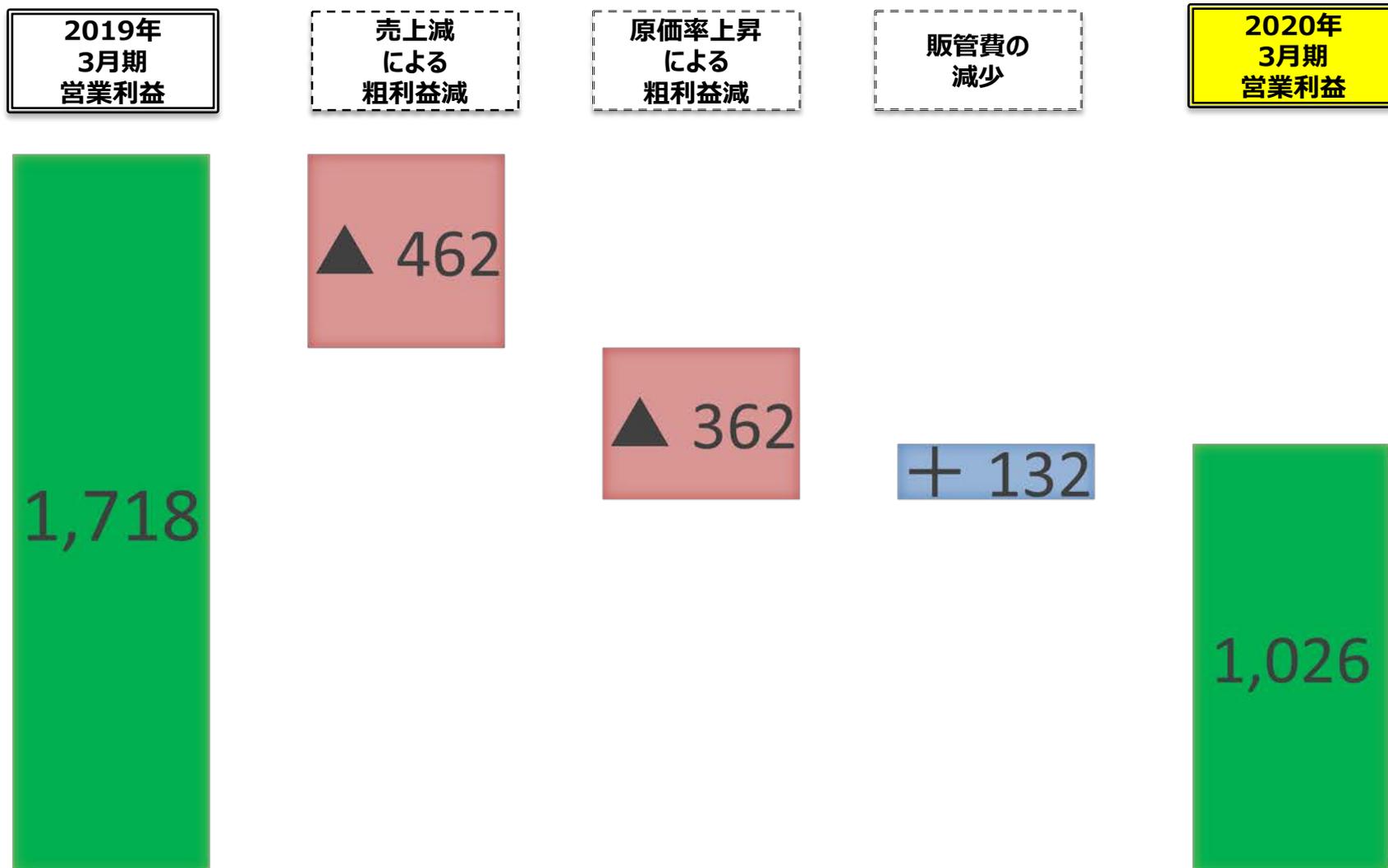
◇セグメント別業績

(百万円)

		FY2018 実績	FY2019 実績	前期増減	前期増減比
受 注 高	計測制御機器	7,848	7,213	▲ 634	▲8.1%
	計装システム	8,712	8,225	▲ 486	▲5.6%
	センサ	4,907	4,519	▲ 388	▲7.9%
	その他	722	669	▲ 53	▲7.4%
	合計	22,191	20,628	▲ 1,562	▲7.0%
売 上 高	計測制御機器	8,381	7,677	▲ 704	▲8.4%
	計装システム	8,039	7,674	▲ 364	▲4.5%
	センサ	4,718	4,352	▲ 366	▲7.8%
	その他	860	877	17	2.0%
	合計	21,999	20,582	▲ 1,417	▲6.4%
営 業 利 益	計測制御機器	1,550	1,153	▲ 397	▲25.6%
	計装システム	724	648	▲ 75	▲10.4%
	センサ	888	652	▲ 235	▲26.5%
	その他	208	209	0	0.3%
	全社費用	▲ 1,652	▲ 1,638	14	
	合計	1,718	1,026	▲ 692	▲40.3%

3) 営業利益増減分析

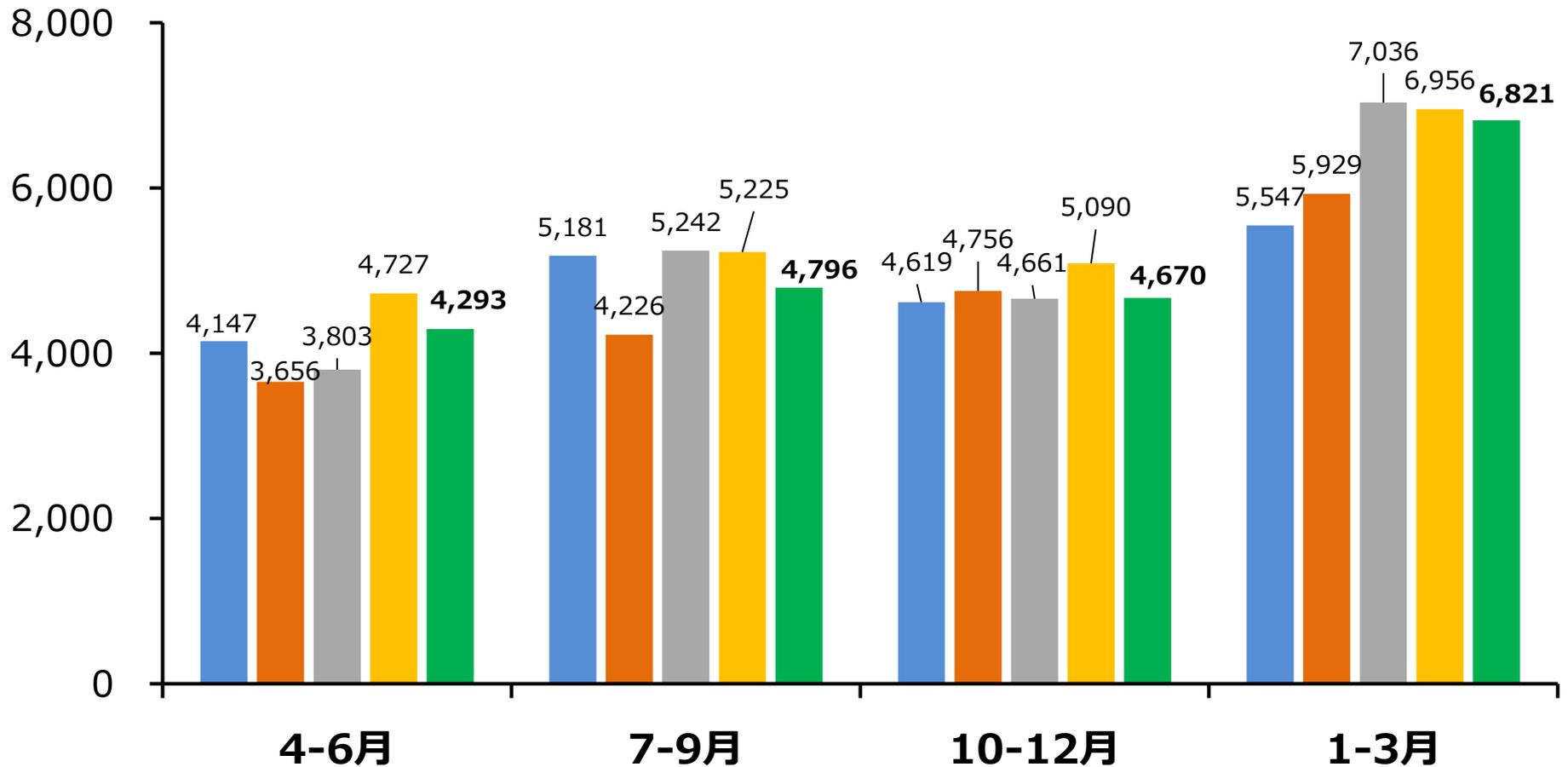
(百万円)



4) 売上高の推移

(百万円)

FY2015 FY2016 FY2017 FY2018 FY2019



5) セグメント業績 (計測制御機器)

損益状況

売上高

7,677百万円 前年同期比 8.4%減



セグメント利益

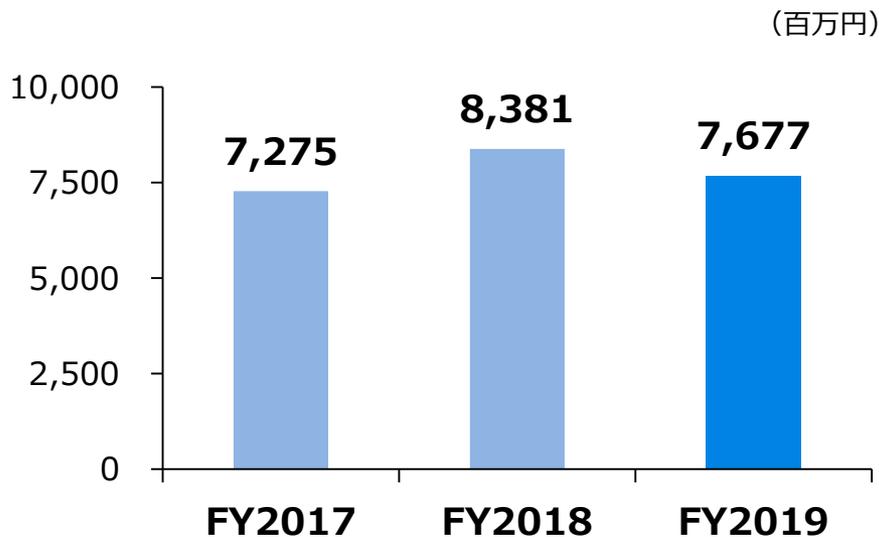
1,153百万円 前年同期比25.6%減



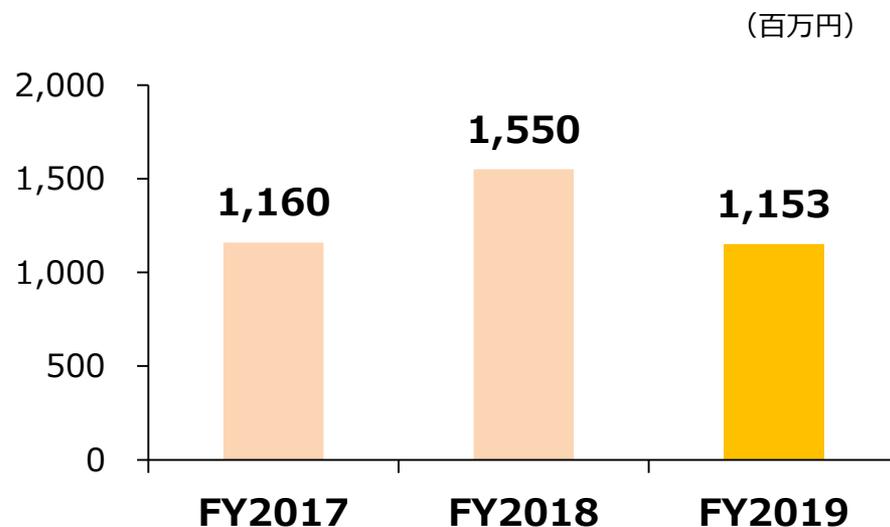
製品別状況

前期好調であった電子部品関連の製造装置向け温度調節計、サイリスタレギュレータの売上が減少

◇売上高

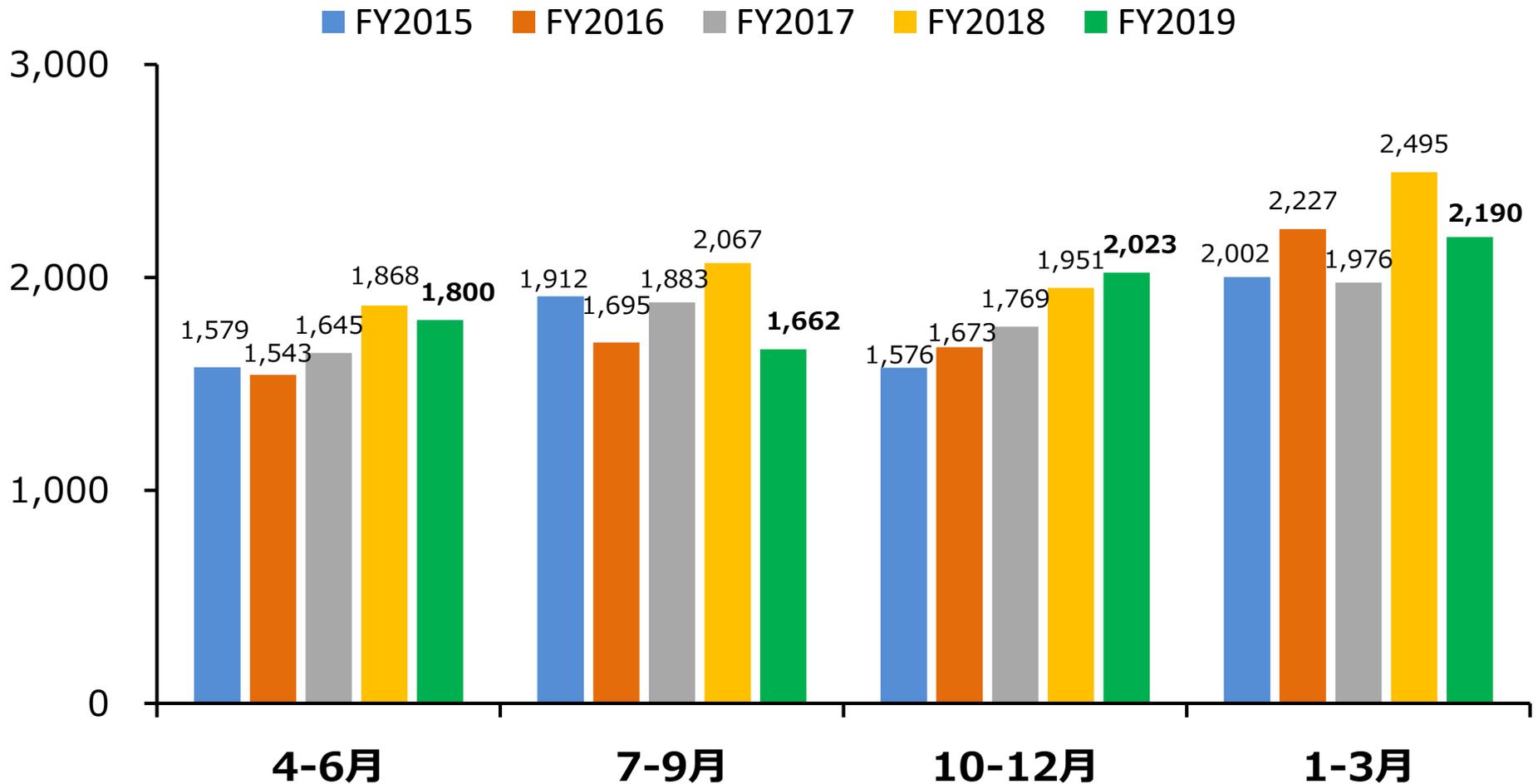


◇セグメント利益



5) 売上高推移 (計測制御機器)

(百万円)



5) セグメント業績 (計装システム)

損益状況

売上高

7,674百万円 前年同期比 4.5%減



セグメント利益

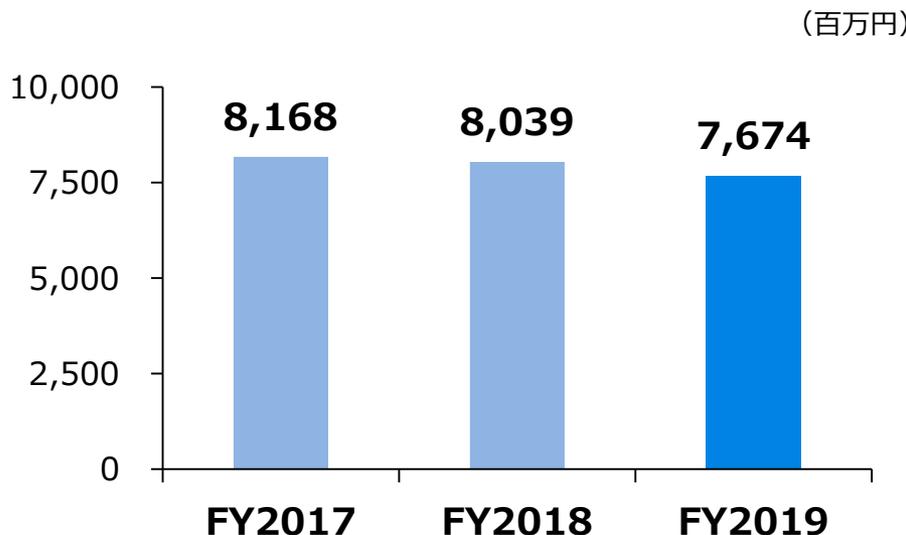
648百万円 前年同期比10.4%減



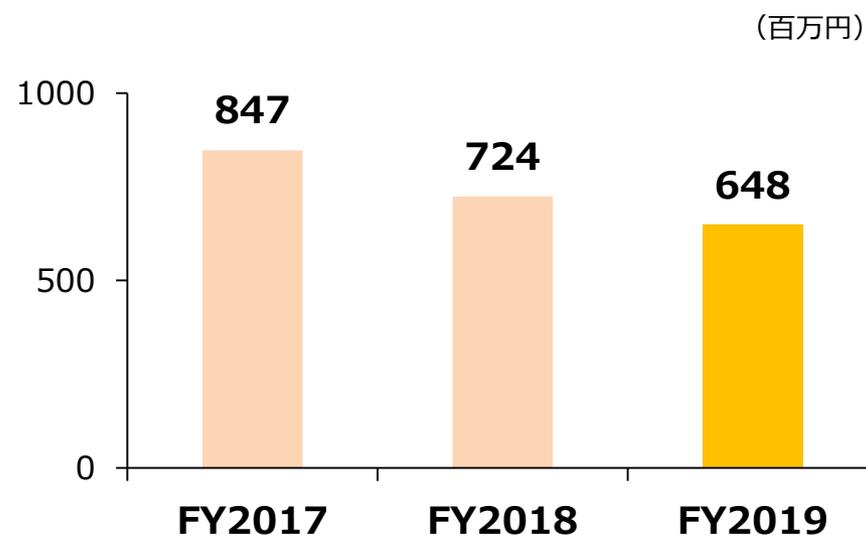
製品別状況

- ・電子部品関連の製造装置向けの売上が大幅に減少
- ・自動車関連向けを中心に、燃料電池試験装置は好調

◇売上高



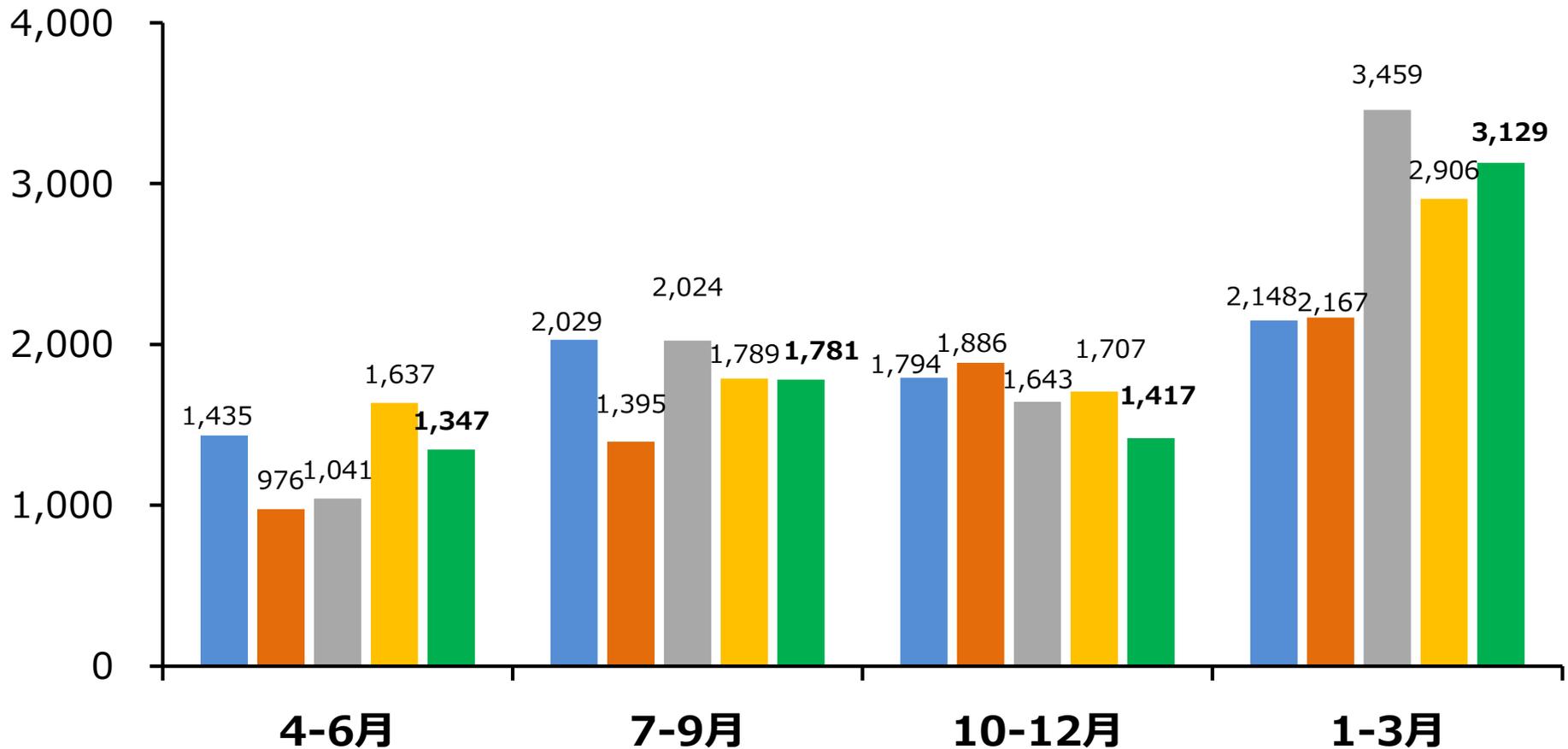
◇セグメント利益



5) 売上高推移 (計装システム)

(百万円)

FY2015 FY2016 FY2017 FY2018 FY2019



5) セグメント業績 (センサ)

損益状況

売上高

4,352百万円 前年同期比 7.8%減



セグメント利益

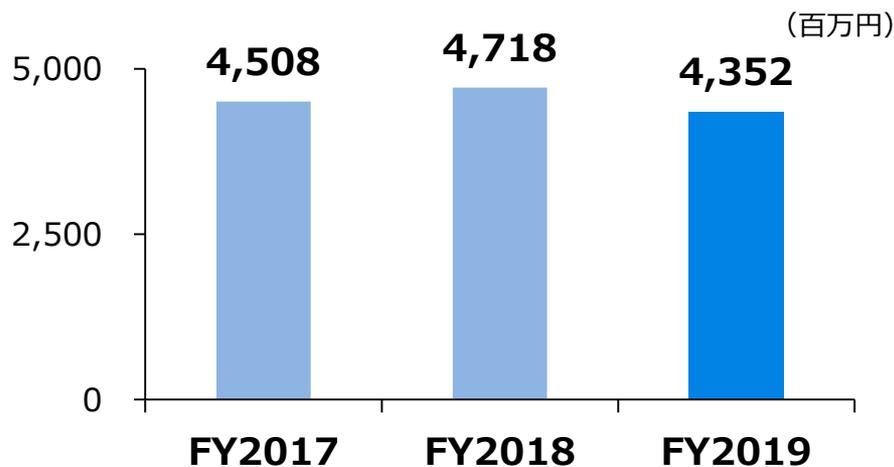
652百万円 前年同期比26.5%減



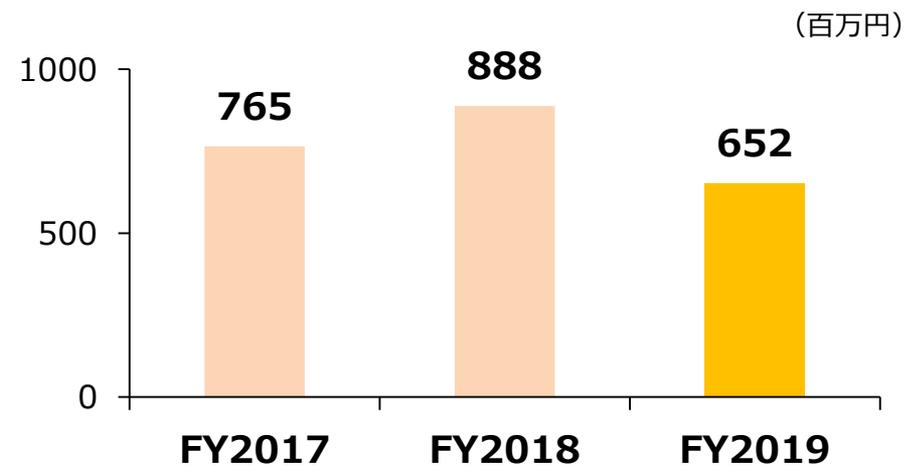
製品別状況 (放射温度計、温度センサ)

- ・半導体関連の製造装置向けを中心に売上が減少
- ・安全監視 (鉄鋼等) の需要は減少

◇売上高

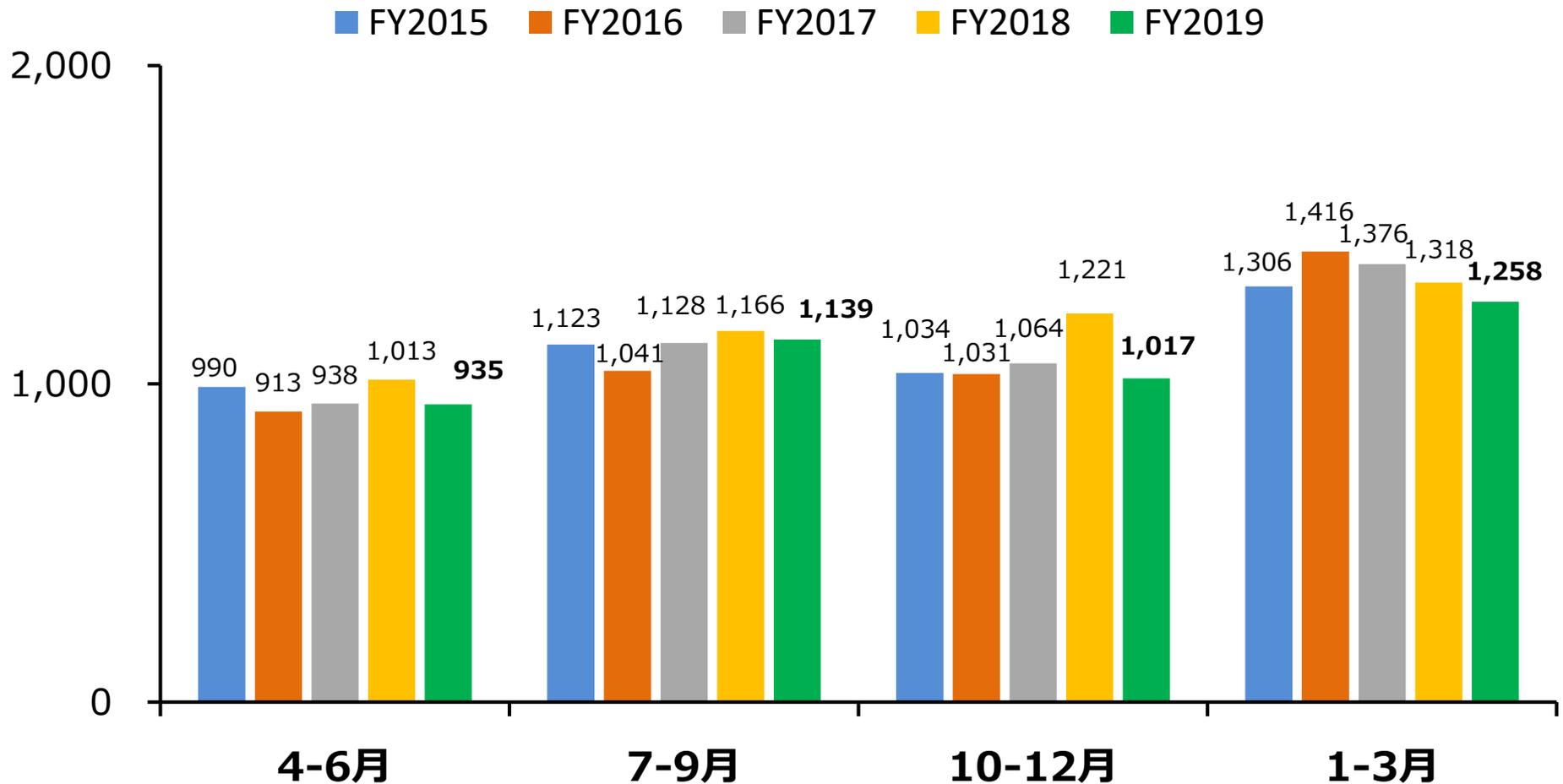


◇セグメント利益



5) 売上高推移 (センサ)

(百万円)



6) 連結貸借対照表

- ◆ **資産** 現預金及び棚卸資産の減少等により、前期末比694百万円の減少
- ◆ **負債** 仕入債務の減少等により、前期末比1,065百万円の減少
- ◆ **純資産** 利益剰余金の増加等により、前期末比370百万円の増加

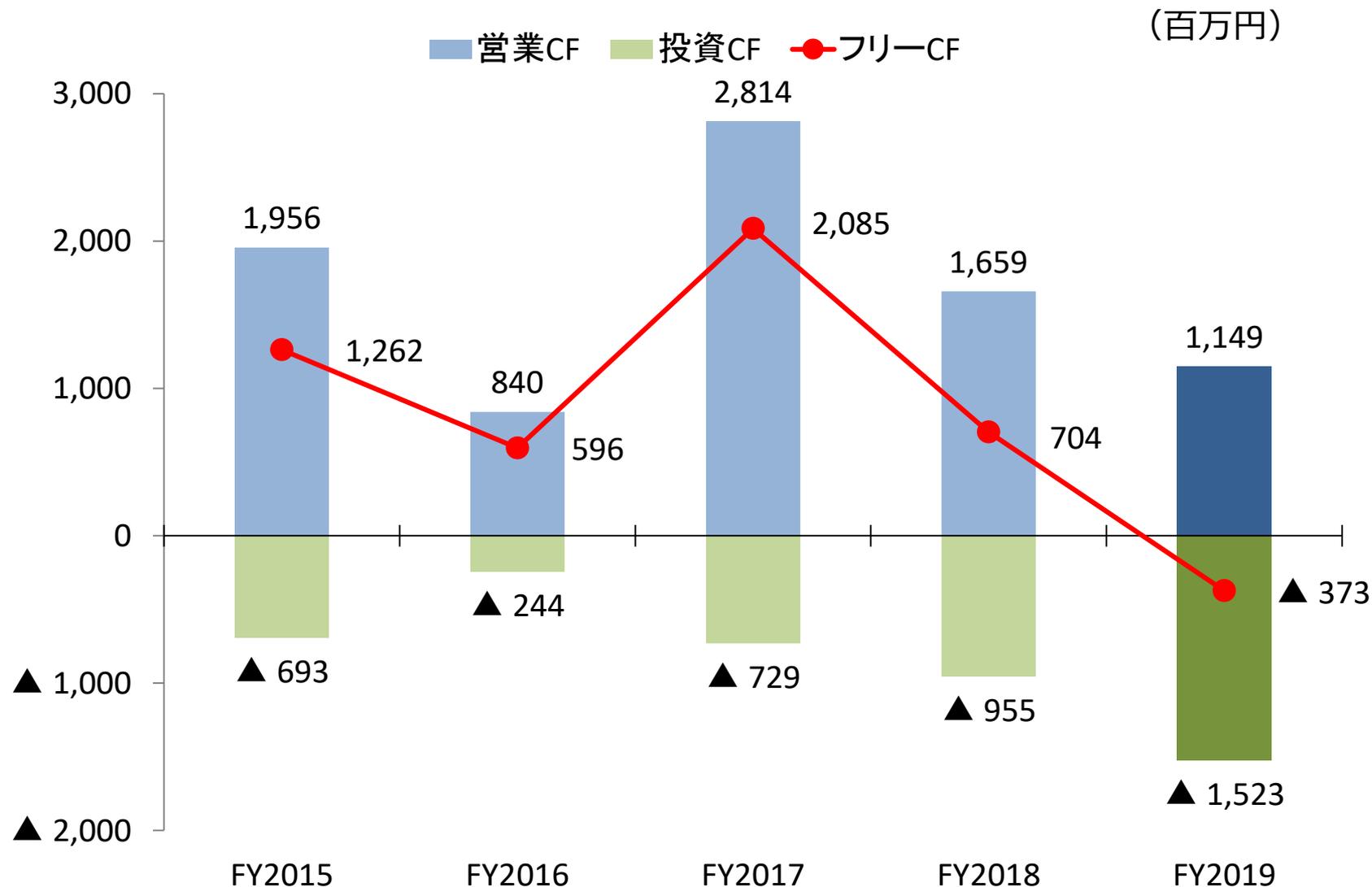
(百万円)

科目	2019年3月末	2020年3月末	増減
流動資産	18,899	17,421	▲ 1,477
現預金	5,463	4,650	▲ 812
売掛債権	7,599	7,327	▲ 271
棚卸資産	5,358	4,992	▲ 365
その他	479	450	▲ 28
固定資産	8,503	9,286	783
有形固定資産	4,573	4,757	183
無形固定資産	460	327	▲ 132
投資その他の資産	3,468	4,200	732
資産合計	27,402	26,708	▲ 694

科目	2019年3月末	2020年3月末	増減
流動負債	9,046	7,063	▲ 1,983
仕入債務	4,670	3,850	▲ 820
短期借入金	2,174	1,574	▲ 599
その他	2,201	1,638	▲ 563
固定負債	2,407	3,326	918
長期借入金	440	1,260	819
その他	1,967	2,066	98
純資産	15,948	16,318	370
株主資本	14,675	15,500	824
その他の包括利益累計額	307	▲ 123	▲ 430
非支配株主持分	965	941	▲ 23
負債純資産合計	27,402	26,708	▲ 694

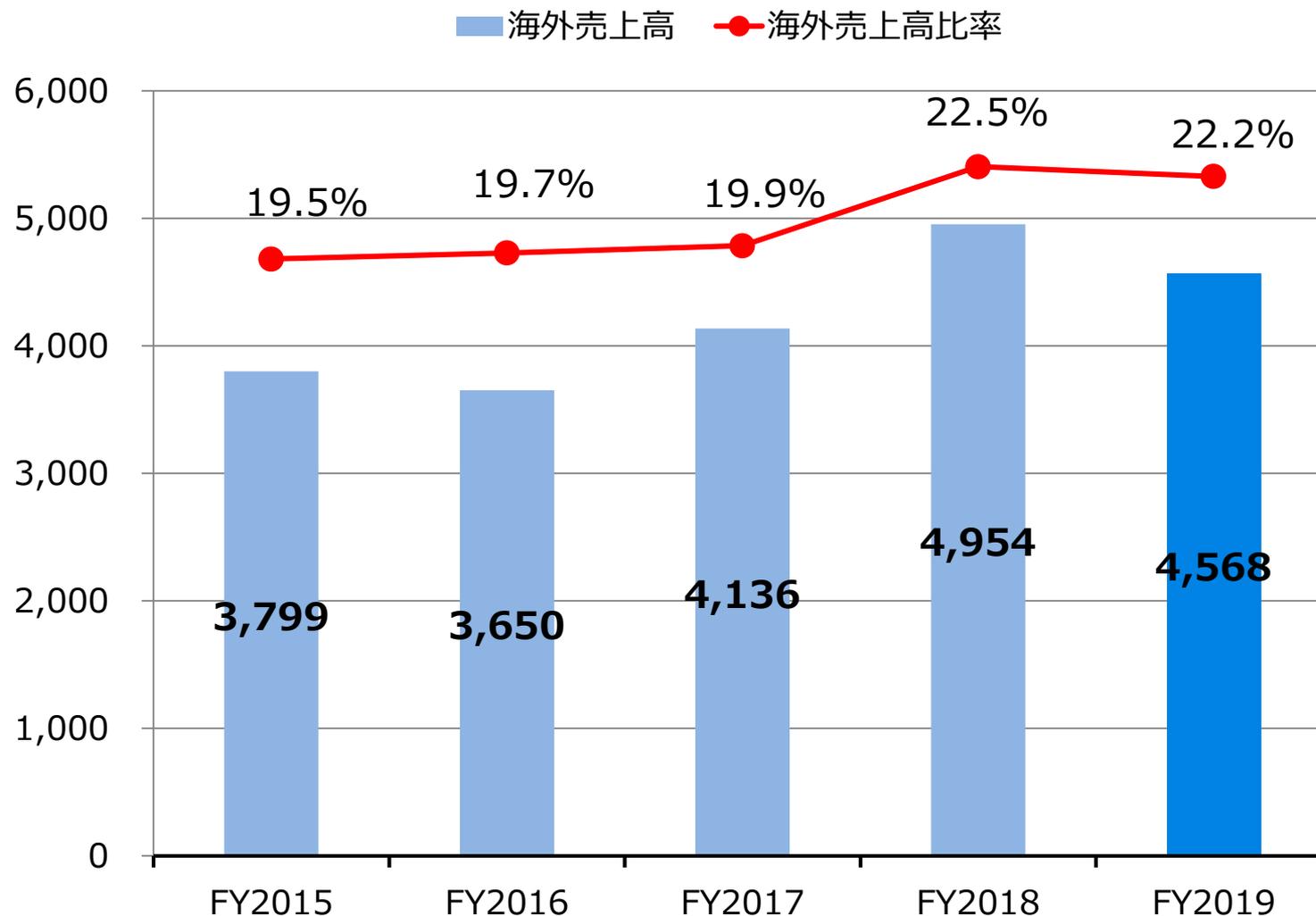
自己資本比率：2020年3月末57.6%、2019年3月末54.7%

7) 連結キャッシュ・フローの推移



8) 海外売上高の推移

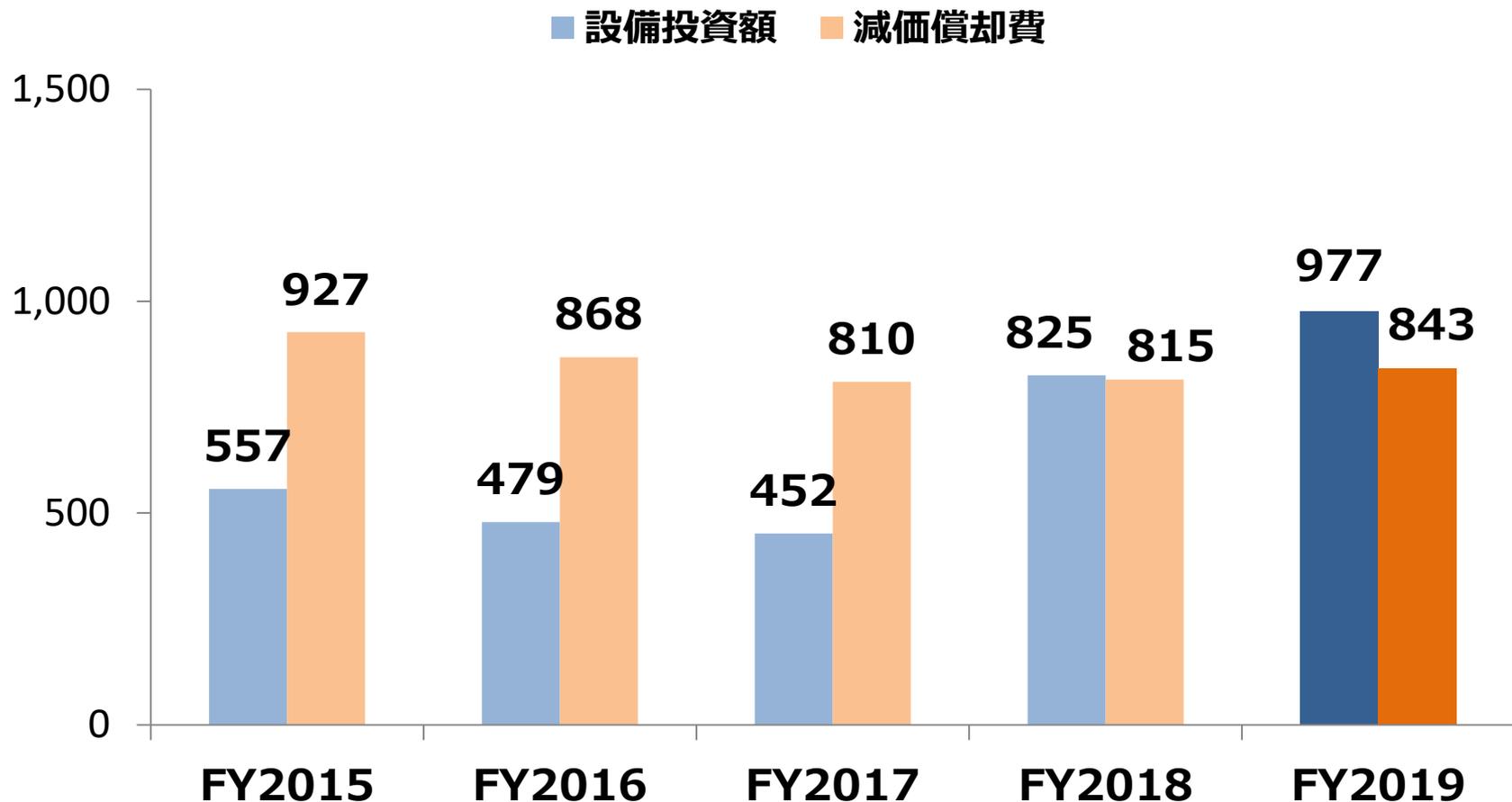
(百万円)



2.設備投資・減価償却費の推移

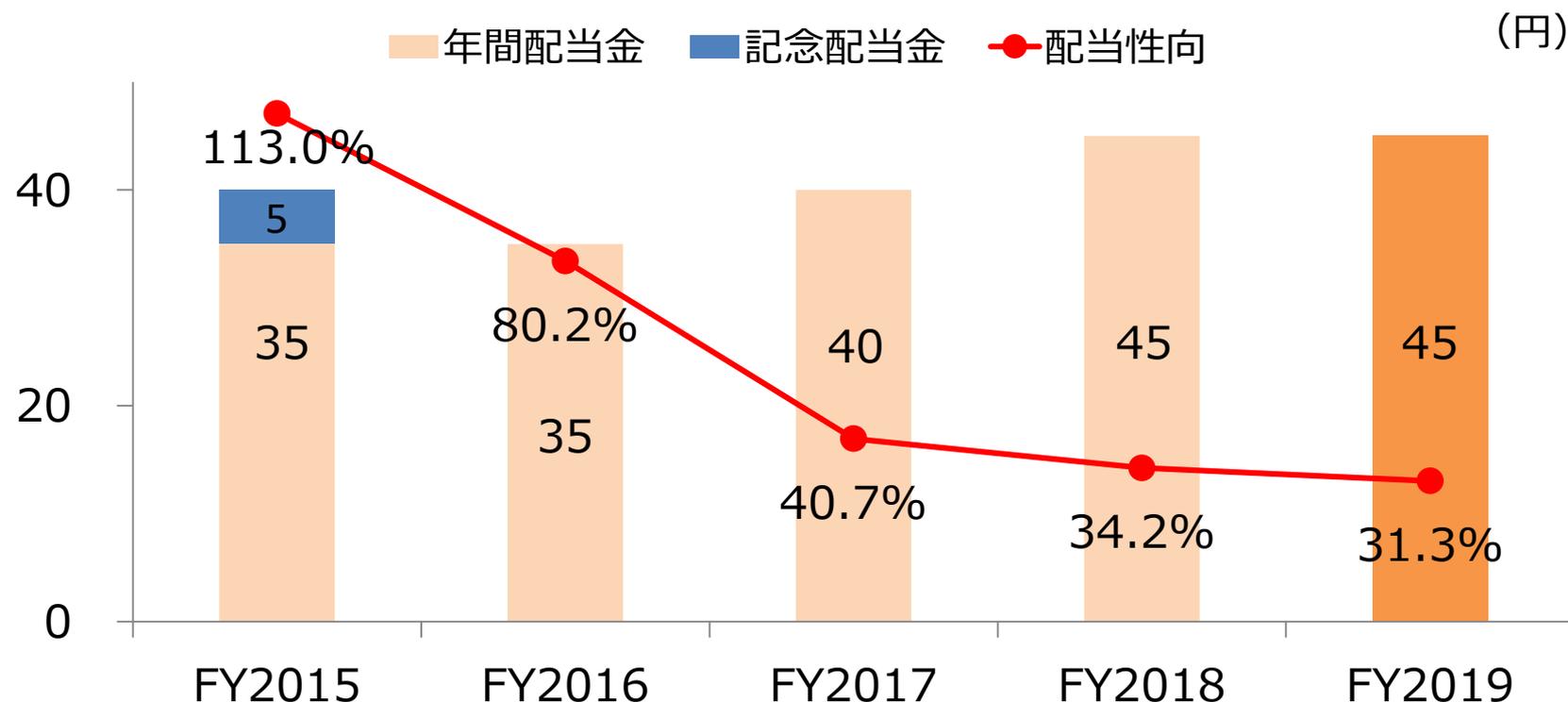
設備投資・減価償却費の推移（連結）

(百万円)



3. 株主還元

- ◆直近に公表されている通り、配当金は前年と同額の年間45円。
- ◆2016年12月から2017年5月にかけて自己株式の取得を120百万円実施。



4.トピックス

1) 明陽電機株式会社を持分法適用会社化

当社は2019年7月に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、当社の持分法適用会社としました。

同社との事業連携により、ICT化が進む船舶用市場へ当社計測制御機器・センサ全般の拡販を見込むとともに、同社が培ってきた高耐震・高温耐久性の技術や高信頼性を活かし、陸上の産業分野への展開を目指します。

※2020年4月に株式の追加取得を行い、子会社化しました。

[明陽電機の概要]

設立年月	1948年5月
所在地	静岡県静岡市清水区七ツ新屋485
事業内容	船舶エンジン用温度センサ他、 各種船舶搭載機器専門メーカー



2) ビオトープ (「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞)

当社藤岡事業所は、日頃の工場緑化への取り組みが認められ、2019年10月に「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞しました(全国で2社)。

この制度は、工場緑化を推進し工場内外の環境向上に顕著な功績が認められた工場を表彰するものです。

当社は、企業活動を通じて、新たな環境価値を創造し自然との共生を図り、地球を守り次世代に明るい未来を届けます。



2) ビオトープ (「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞)

2011年に藤岡事業所内に環境問題に取り組むシンボルとして、また地域社会とのコミュニケーション拠点として群馬県内の里山を再現した総面積約10,000㎡の「チノービオトープフォレスト」を整備致しました。

※ビオトープ：地域の生態系や野生動植物を保全することを目的に、人工的に復元した場所

チノービオトープフォレスト



藤岡市の天然記念物 ヤリタナゴ
(ビオトープ内にて保護中)

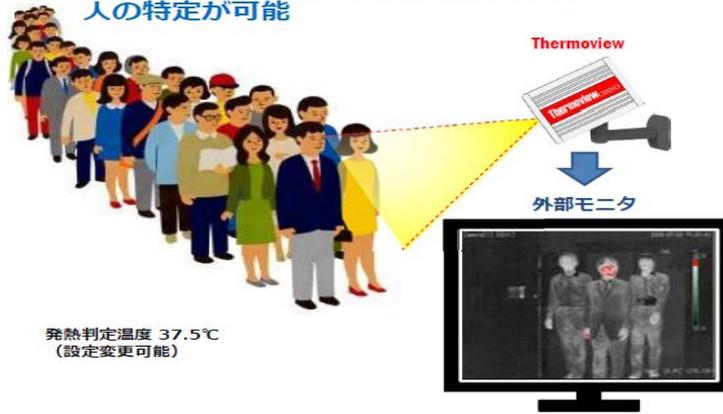


3) 新型コロナウイルス感染拡大防止への貢献 **CHINO** *Measure with Passion*

当社製品が、発熱者の早期発見に役立っています。

高精度と堅牢性を実現した体表面温度監視専用モデル

不特定多数の中から発熱の疑いがある
人の特定が可能



CPA-L25TV



ユニット形 体表面温度チェッカー **サーモビクス**

TP-U series

特長

- 3秒ですばやく体表面温度を測定
- スタンバイ、OK、NGランプを確認する
簡単操作でセルフチェックが可能
- ふれずに測定できるので衛生的
- 単体で運用が可能

TP-U

測定環境や目的に合わせて、大型の公共施設から小人数を対象とした場所まで幅広く体表面温度測定に対応

5.業績予想、中期経営計画 進捗状況

業績予想 ・ 「中期経営計画2020」進捗状況

(百万円)

中期経営計画

	2017年度	2018年度			2019年度			2020年度		
	実績	実績	当初計画	差異	実績	業績予想 (2019年11月)	差異	業績予想 (2020年5月)	当初計画	差異
売上高	20,745	21,999	21,460	539	20,582	20,000	582	—	24,000	—
営業利益	1,303	1,718	1,400	318	1,026	1,100	▲73	—	1,700	—
海外売上高比率	19.9%	22.5%	21.0%	1.5p	22.2%	23.1%	▲0.9p	—	25.0%	—

※2020年度の業績予想は新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難である為、開示しておりません。

本資料におけるご注意とお願い

- 本資料における将来の業績に関する見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確実性を含んでおります。
- また、業績等に関する記述につきましても、信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性を保証するものではありません。

CHINO